

自由民主党
幹事長

森山 裕 殿

農業に関する緊急要望書

令和7年5月10日

茨城県農業協同組合中央会

代表理事会長 八木岡 努

緊急要望書

1. アメリカとの関税協議について

現在、アメリカとの間で関税措置を巡る協議が進行しておりますが、今後の交渉の中で、日本の農畜産物が交渉カードとして取り扱われる可能性について、私たちは強い危機感を抱いております。

関税の引き下げや撤廃が国内農業に与える影響は計り知れません。農畜産物は単なる「取引品目」ではなく、日本の食料自給と食文化、そして国民の命を守る根幹に位置付けられるものです。

つきましては、日本の農畜産物を関税交渉の対象品目として扱うことのないよう、政府に対し、強く働きかけることを要望いたします。

2. 米価の適正な価格形成について

現在、全国的に米価が急激に上昇しており、政府は備蓄米の放出等で市場価格の高騰を抑制する対策を講じられておりますが、多くの農業現場で戸惑いや不安が広がっております。

価格の急激な上昇は、消費者の米離れや需要減少を引き起こし、将来的な価格暴落に繋がりがねません。また、次年度以降の需給バランスを大きく乱す恐れもあります。こうした事態に対処するためには、早期且つ精緻な需給見通しの明確化と適切な所得補償の検討が必要不可欠です。

私たちは、安心して米づくりに取り組み、安定した供給を維持することが社会的責任であると認識しております。

つきましては、生産コストに見合った「適正な価格形成」と、それを継続的に支える仕組みの構築を強く要望いたします。

令和7年5月10日

茨城県農業協同組合中央会
代表理事会長 八木岡 努